

静岡型小中一貫教育の特色である「英語力の向上」とは、具体的にはどのような取組なのでしょうか。

静岡市英語教育推進方針(2018年8月策定 静岡市英語教育推進指針より)

異なる文化の人々と自信をもってコミュニケーションをとることができ、地元への愛情をもちながら国際的に活躍できる子どもを育てる。

ローカルとグローバルの視点をもった「グローバルな人材」の育成

①地域社会での国際市民として

- ・地域の良さや特徴を自信をもって外国人に伝えることができる人
- ・静岡に訪れた外国人と積極的にコミュニケーションをとろうとする人



②日本での国際市民として

- ・生活の様々な場面で他国の文化を尊重しながら、ふるさとの良さを外国人の人に伝えることができる人
- ・日本にいる様々な国の人と協働することができる人



③世界での国際市民として

- ・ふるさとの自然や文化を愛し、世界に発信できる人
- ・世界の中の日本人・静岡人としての誇りをもち、多様な文化と共生しながら、自分の志を貫き、力を発揮できる人



Question

Q 静岡市英語教育推進指針とはなんですか？

A 2017年より本市で進めている「英語を活用したコミュニケーション力向上プロジェクト」において策定された、「英語を通じたコミュニケーション力」を向上するための教育指針です。「静岡市グローバルタイムガイドライン」とも呼ばれ、静岡型小中一貫教育カリキュラムの一環として進められている「グローバル人材育成」の方針として策定されました。

Q 静岡市英語教育推進指針にはどのようなことが示されているのですか。

A 静岡市の英語教育推進の概要や目標、目標実現のための「ワクワク3視点」等について示されています。静岡型小中一貫教育カリキュラムに対応するようにつくりになっており、具体的な方策について記されています。英語担当者以外の方も、是非お読みください。



「間違ったらどうしよう」のドキドキを
「伝えたい！」のワクワクにするために



【静岡市英語教育目標実現のためのワクワク3視点】

- ①小中一貫の9年間を通じたカリキュラムによる**授業の充実**（英語の楽しさを実感できる授業）
- ②**英語指導者の英語力・授業力向上**（①を充実するための指導者の資質能力向上）
- ③英語の授業以外で児童生徒が日常的に**英語に接する機会の拡充**

ワクワク①
授業の充実

英語教育基本方針の策定
静岡型小中一貫英語教育基本方針を策定

カリキュラムの策定
・9年間を見通し、楽しく英語を学べるカリキュラムの策定
・発達段階に応じた目標設定

独自の教材の活用
独自教材「静岡グローバルタイム」を活用

中学3年英語検定3級以上受験補助
学習意欲を高め、自己の能力を試す英語検定の受験補助

ワクワク②
指導者の英語力・授業力向上

- 教員研修の充実
- 英語力のある教員の採用
- 小学校専科教員の加配

ALTの活用
・全中学校に1名ずつ配置
・小学校3～6年の授業に年8回訪問
・異文化の提供

地域人材 (GET) の活用
・英語が堪能な地域人材による授業充実のための支援
・異文化理解の促進（小5・6年の授業2週に1回）

ワクワク③
英語に接する機会の拡充

イングリッシュキャンプ
オールイングリッシュによる体験活動

イングリッシュカフェ
ALTと日常場面で気軽に英語を話す場の設置（全中学校月1回程度）

イングリッシュデイ
あいさつなど、英語の授業以外でも、英語を使う日を学校ごと設定

AMAZING!

